文部科学省「AI の活用による英語教育強化事業」に採択された学習支援アプリ

AI を搭載した「ECC Study Assist」の公開授業を実施

11/27（金）に賢明学院小学校（大阪）で実施

総合教育・生涯学習機関の株式会社 ECC（本社：大阪市北区、代表取締役社長：花房雅博 以下、ECC）は、11 月 27 日（金）に、賢明学院小学校（所在地：大阪府堺市）にて、AI を搭載した ECC の学習支援アプリ「ECC Study Assist」（以下、本アプリ）を活用した英語の公開授業を実施いたします。

本アプリは、文部科学省の「デジタル技術を活用した発信力強化事業」（2024 年）、「小・中・高等学校を通じた英語教育強化事業（AI の活用による英語教育強化事業）」（2025 年）に採択されております。

※11 月 27 日（金）の公開授業はメディア関係者の方もご来校いただけます。AI を活用した英語授業を直接ご覧いただける貴重な機会です。ぜひ取材にお越しください。

■ 賢明学院小学校　公開授業の実施概要

https://kenmei.jp/elementary/news/993/

【実施日】11 月 27 日（金）
【 場所 】賢明学院小学校（大阪府堺市）
※本館 3 階 i-Laboratory で実施
【 時間 】9：15‥‥‥‥‥‥‥‥受付開始
9：35～10：15‥‥5 年生英語授業（反田　任　教諭）
10：35～11：15‥‥6 年生英語授業（中村　直紀　教諭）
11：25～12：05‥‥事後研究会
【 内容 】生成 AI を用いた自由会話練習を通じて、児童が主体的に英語でコミュニケーションを図る様子をご覧いただけます。



「ECC Study Assist」で学習する様子
賢明学院小学校（大阪府）

＜アクセス＞
●JR 阪和線上野芝駅下車　西へ徒歩 13 分

●南海高野線堺東駅より南海バス
西区役所前行き乗車 —— 霞ヶ丘下車　東へ徒歩 3 分

●南海高野線堺東駅より南海バス
堀上緑町一丁行き乗車 —— 南陵通一丁下車　南へ徒歩 3 分

報道機関に授業の様子を公開いたします。取材をご希望される場合は、下記までご連絡ください。

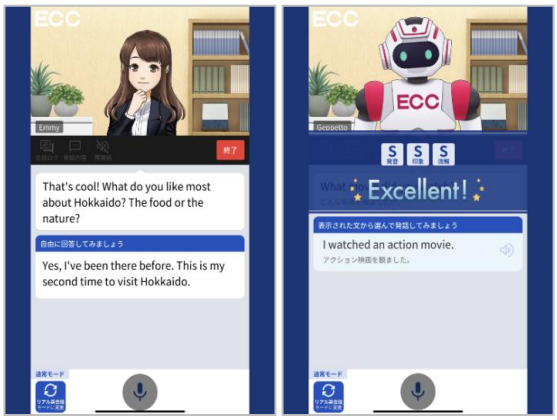
【取材に関するお問い合わせ】
株式会社 ECC　広告広報・マーケティング本部　広告広報部
Tel：06-6352-0148　Fax：06-6352-0138　E-mail：kouhou@ecc.co.jp　（受付　月～金 10：00～19：00）

【本件に関わる取材などは、下記連絡先までお問い合わせください】
株式会社 ECC　広告広報・マーケティング本部　広告広報部　担当：水野、玉城（受付　月～金 10：00～19：00）
Tel：06-6352-0148　Fax：06-6352-0138　E-mail：kouhou@ecc.co.jp

■ 学習支援アプリ「ECC Study Assist」とは？

https://www.ecc.jp/cinfo/eikaiwa/app.html

「ECC Study Assist」は、AI を相手に実践的な英会話練習をすることができる ECC の学習支援アプリです。生成 AI を活用した自由会話機能を搭載し、授業で学習したトピックなどについて AI と自由に会話を展開でき、生徒自身の自発的な発話を促進して会話練習を支援します。



▲アプリ画面のイメージ

＜「ECC Study Assist」の特長＞

【ポイント 1】 基礎から学べる単語・構文学習機能やパターン会話練習機能を搭載

単語・構文学習機能、定型表現が学べるパターン会話練習機能を搭載し、英会話の下地となる基礎的な単語や表現を学習します。日本人特有の英語の発音を聞き分け、ネイティブスピーカーの発音と比較して判定する発音評価機能も搭載しています。

【ポイント 2】 学習トピックに合わせた発話内容を AI が誘導

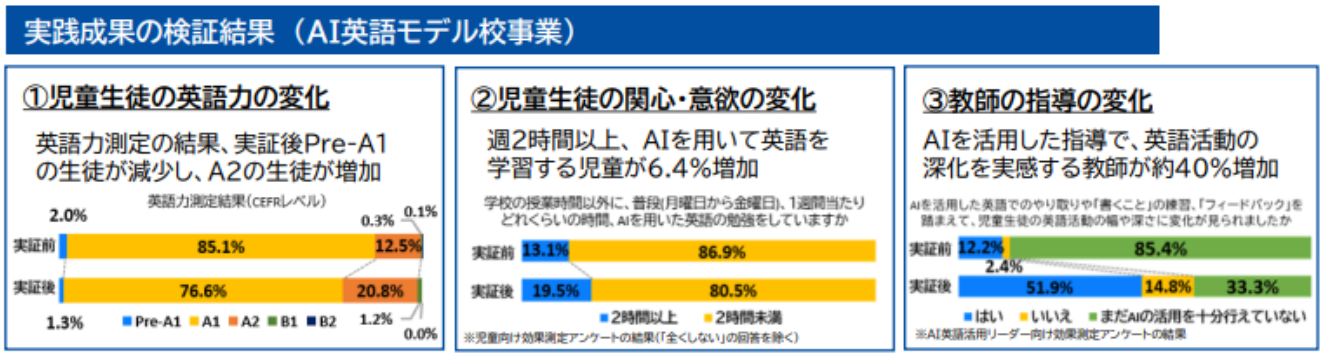
AI 自由会話練習では、学年・学期ごとの達成目標に準じたトピックごとに、AI と自由に会話ができます。AI は児童・生徒の発話内容に応じて、トピックに適した返答や質問を行いながら目標に到達できるよう会話を誘導します。

【ポイント 3】発話内容を基に、AI がアドバイスを提示

AI 自由会話練習では、児童・生徒が発話した内容を基に、「相手への応答として自然か」という観点で英語力をスコア化します。さらに、本当に言いたかった表現を振り返られるよう、例文やアドバイスを提示します。

■ 「小・中・高等学校を通じた英語教育強化事業（AI の活用による英語教育強化事業）」検証結果

2025 年度の文部科学省「小・中・高等学校を通じた英語教育強化事業（AI の活用による英語教育強化事業）」においては、小・中・高等学校 17 校の 4,533 名の児童・生徒を対象に、AI を活用した会話練習の導入で児童・生徒の学びの姿勢や英語力、英語への関心・意欲がどのように変化するか実証研究を実施。AI との会話練習の実践で、児童・生徒の英語力や学習意欲の増加、また、教師が英語活動の深化を実感するなどの効果が見られました。



▼2025 年度 検証結果詳細
https://ai-eigo.mext.go.jp/resultsreport/pdf/r7_45.pdf

※資料に記載の「令和 6 年度」は、本事業の予算年度に基づく表記です。本事業は令和 6 年度補正予算により実施され、学校現場での実証は 2025 年度（令和 7 年度）に行われました

■ 賢明学院小学校授業者紹介



反田　任 教諭
公立中学校を経て、長く同志社中学校英語科教諭として勤務。ICT 教育にも早くから取り組む。瀬戸 SOLAN 学園初等部を経て、2025 年 4 月より賢明学院小学校英語科教諭。
Apple Professional Learning Specialist
Apple Distinguished Educator 2015
Adobe Creative Educator Innovator



中村　直紀 教諭
関西外国語大学、アリゾナ州立大学にて実践的な英語教育指導法（Direct Method）を学び、ECC 外語学院にて小学生から大人までの各種授業を実践、統括部長を歴任した後、賢明学院へ。
2025 年度文部科学省英語教育強化事業 AI 英語活用リーダー。
TOEFL Primary/Junior オフィシャルアドバイザー、アメリカ Meta Metrics 社公認 Lexile &Quantile Educator としても活動中。

総合教育・生涯学習機関 ECC

■株式会社 ECC　https://www.ecc.co.jp/

ECC は 1962 年の創業以来、60 年以上にわたり、さまざまな教育活動を展開。幼児からシニア世代までそれぞれの目的を実現する独自のカリキュラムや教材を導入し、確かな成果を生み出しています。語学教育を通じて、時代にあった“真の国際人”としての資質を兼ね備えた人材を育てることを ECC の使命としています。